

学習課題（小学校4年生）

【音楽】パソコンなどで、見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

<学習内容>



◆曲の気分を感じ取って、『ジッパ ディー ドゥー ダー』を演奏（えんそう）しましょう。（教科書 64～65 ページ）

※参考動画 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_shou4.html

- (1) 教科書 64～65 ページの楽譜（がくふ）を見ながら、『ジッパ ディー ドゥー ダー』をきいて、曲の感じをつかみましょう。
※右上の二次元バーコードから範奏（はんそう）をきくことができます。
- (2) 主なせんりつ（せんりつ）を階名（かいめい）（ドレミ）で歌いましょう。
※主なせんりつを担当（たんとう）する楽器（がく）がとちゅうでかわります。アとイは鍵盤（けんばん）ハーモニカ、ウからはリコーダーですが、ウの最後（さいご）2小節（しょうせつ）はまた鍵盤（けんばん）ハーモニカにもどります。
※主なせんりつの演奏（えんそう）の様子は動画（どうが）でも確認（かくにん）できます。
- (3) リコーダーのパート（ぱーと）を演奏（えんそう）しましょう。
※演奏（えんそう）の様子は動画（どうが）でも確認（かくにん）できます。
- (4) 鍵盤（けんばん）ハーモニカのパート（ぱーと）を演奏（えんそう）しましょう。
※演奏（えんそう）の様子は動画（どうが）でも確認（かくにん）できます。
※スタッカート（すたっかーと）とタイ（たい）が続（つ）く部分（ぶぶん）のリズム（リズム）に気（き）を付けて、はずむ感じ（かんじ）で演奏（えんそう）しましょう。
※主なせんりつを担当（たんとう）するときと、そうではない（ではない）ときの役割（やくわり）を意識（い）しながら演奏（えんそう）しましょう。
- (5) 範奏（はんそう）がきける人（ひと）は、範奏（はんそう）に合わせてリコーダー（りこーだー）や鍵盤（けんばん）ハーモニカのパート（ぱーと）を演奏（えんそう）しましょう。自分（じぶん）が演奏（えんそう）しているパート（ぱーと）以外（いがい）の音（ね）をききながら、音（ね）の重なり（かさなり）を感じ取（かんじ）りましょう。
※合奏（がっそう）の様子は動画（どうが）でも確認（かくにん）できます。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲（はんい）でお願いします。

- ・陽気（やうき）な旋律（せうり）の雰囲気（ふんいき）と軽快（けいがい）なリズム（リズム）を感じて楽しく演奏（えんそう）したい曲（きょく）です。スタッカート（すたっかーと）やタイ（たい）による旋律（せうり）の特徴（ていしゅ）に気（き）を付けて、息（いき）の使い方（かたづかい）やタンギング（たんぎんぐ）を工夫（くわふ）して演奏（えんそう）することで、弾（は）んだ曲想（きょくさう）に合（あ）った演奏（えんそう）をすることができます。
- ・曲（きょく）の気分（きぶん）を感じ取（かんじ）って、音（ね）を合（あ）わせて演奏（えんそう）を楽しむこと（こと）を大切に（たいせいに）してください。